

DOCUMENT EYE

136

混合交通を観察する

ドライバーは車中で何をしているか...

走行中の携帯電話の使用や、カーナビ・カーテレビ装置などの注視は道路交通法によって禁止されている。にもかかわらず、昨年の携帯電話使用中の交通事故は1453件発生している(警察庁交通調査課発表資料より)。この他にもドライバーは車中で様々な行動をとっている。ほんの僅かな時間であっても意識は運転以外のところに向かってしまう。



WHY

ドライバーは車中で何をしているか...

ためながら運転は事故になりやすい。平日の午前中に、クルマを利用する機会が多いと思われる地方都市の交差点で信号待ちのドライバーの行動を観察した。



マンガ雑誌を手に発進する男性

信号待ちの間に化粧をする女性
 観察地点 / 千葉県柏市柏3 - 4付近
 観察日 / 5月11日(金曜日)
 天候 / 晴れ
 観察時間 / 9:10 ~ 10:10
 観察者 / 4名

停車中のドライバーの行動を観察する 419名中86名 信号待ちの「ながら運転」ドライバー

WATCHING

化粧道具を持ちながら運転、停止後すぐに化粧直しを始める人も

観察は千葉県柏市のJR柏駅からほど近い片側1車線の道路の交差点で行なうた。周辺にはデパートなどの商業施設やオフィスビルが多く、交差点を通過する車両や歩行者も少なくない。

観察の結果、1時間に観察地点の交差点を通過したクルマは男性301台、女性118台の計419台で、比較的女性の姿が目立った。

約40秒間の信号待ちの際に、車内で何らかの行動をとっていたのは男性62名、女性24名の計86名だった。

内訳は、「タバコ着火」18名、「書類記入・整理」14名、「読書中」12名、「会話」11名、「電話中」4名、「TV/カーナビ」1名、「その他」26名だった。

「その他」の内訳は「飲食」「探し物」各6名、「化粧」「シートベルト装着、シート調整など」各5名など様々だ。社名が入ったクルマの窓からタバコの灰を車外に落としていた女性ドライバーもいた。化粧をしていた5名は、手鏡を使用したリバックミラーを覗き込んで化粧直しをしていたほか、ビューラーを持ちながらハンドルを握り、信号が赤に変わった途端ビューラーでまつげをカールさせ始める女性もいた。



(上)携帯電話をかけながら、発進する男性
(下)タバコに火をつける男性

この交差点は歩行者や自転車の通行量も多く、信号が赤になってクルマの流れが停まると歩行者や自転車が一斉にクルマの前後を横断していった。クルマの脇をぶつかりそうになりながらすり抜けていく自転車やバイクも見られた。

信号待ちで何かをしているドライバーの多くは、信号が青に変わってからというよりも、前車が動き出すにあわせて動き始めていた。そのほとんどは左右の確認をせずに、あわてて発進しているようだった。

PROPOSE

ドライバーは常に運転に集中しよう

今回の観察では特に危険と思われる状況は発生しなかった。しかし、停車中の

クルマの前後を歩行者や自転車が横切っていく場面はよく見かけた。このような状況下では、ながら運転などでドライバーがほんの少し目を離したときに歩行者や自転車がクルマの死角に入ってくる。一瞬のよそ見が周囲の変化を見落とし、対応が遅れてしまうことになる。また、前方を確認せずにあわてて発進するドライバーも目立ったが、これも前車に追突することが十分考えられる。運転中は、たとえ停車中であっても常に周囲の状況の変化に対して注意を怠らないようにして欲しい。

●停車中のドライバーの行動(観察車両419台中何らかの行動をとった86台)

＜その他の内訳＞

- 飲食 6名
- 探し物 6名
- 化粧 5名
- シートベルト装着、シート調整など 5名
- オーディオ機器操作 2名
- 鼻をかむ 1名
- 絆創膏を貼る 1名 計26名

